

InterSec/MW400n オプションライセンス
セットアップ手順説明書

商標について

Microsoft、Windows および Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。

その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

ごあいさつ

このたびは、InterSec/MW400n(以後、InterSec/MW と記載)のオプションライセンスをご利用いただき、まことにありがとうございます。

本書は、ご利用いただくライセンスの内容の確認やセットアップの内容を中心に構成されています。ご購入いただいた本製品をお使いになる前に、必ずお読みください。

目次

1 章 機能追加ライセンスについて.....	1
2 章 InterSec/MW の機能追加オプション.....	2
2.1. 機能追加ライセンスのインストール方法.....	3
2.2. 追加機能の確認方法	7
2.2.1. 二重化構成構築キット機能の確認.....	8
2.2.2. DNS/DHCP 強化ライセンス機能の確認.....	9
2.2.3. 全メール保存ライセンス機能の確認	10
2.3. 機能追加ライセンスのアンインストール方法	11
3 章 InterSec/MW の WEBMAIL-X オプション.....	12
3.1. WEBMAIL-X の同時接続ライセンスについて	13
3.2. WEBMAIL-X の同時接続ライセンスの登録.....	13
4 章 注意事項.....	20

改版履歴

版数	改版日付	内容
1	2024年 8月	新規作成

1章 機能追加ライセンスについて

各オプション製品をご使用になるためには、まず、お手持ちの InterSec/MW に、各製品に添付されているライセンスをインストールしていただく必要があります。

InterSec/MW のオプション製品は以下のラインナップにて構成されています。

1) InterSec/MW の機能追加オプション

以下の機能のライセンスを InterSec/MW に追加し利用することができます。

- InterSec/MW 二重化構成構築キット

InterSec/MW の冗長化（フェイルオーバークラスター）構成が構築可能になります。

- InterSec/MW 全メール保存ライセンス

InterSec/MW を経由するメールの保存機能が利用可能になります。

- InterSec/MW DNS/DHCP 強化オプション

InterSec/MW の DNS サーバでのビュー、DNSSEC の利用が可能になります。また、DHCP サーバが利用可能になります。

2) InterSec/MW の WEBMAIL-X オプション

WEBMAIL-X はプリインストールされています。

出荷時に体験版として InterSec/MW WEBMAIL-X(WM)の5同時接続ライセンスが付属しています。

本製品のインストールには、以下の環境が必要になります。

- InterSec/MW
- InterSec/MW にブラウザ経由でアクセスできるクライアント PC

※InterSec/MW へは、Management Console を使用してアクセスします。

※ご使用になるブラウザは、Microsoft® Edge を推奨します。

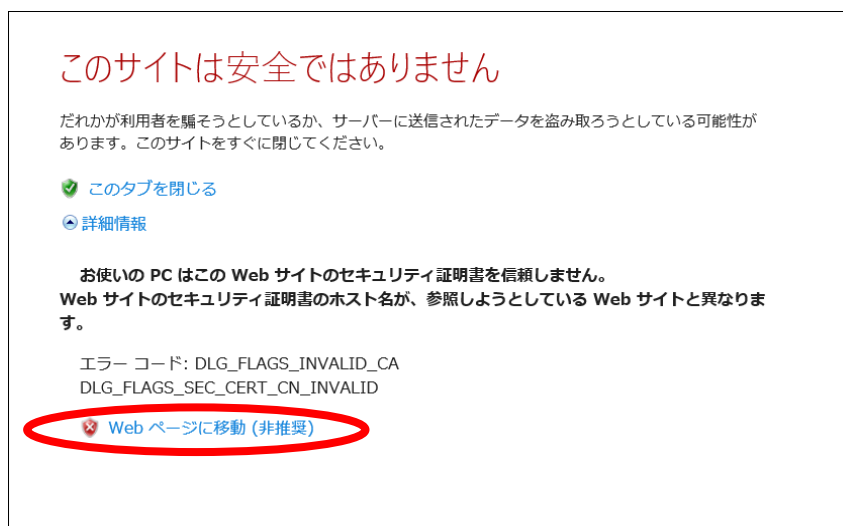
2章 InterSec/MW の機能追加オプション

この章ではInterSec/MWにオプション機能を追加する以下の三つのライセンス製品についてインストール方法や機能確認方法について記述します。

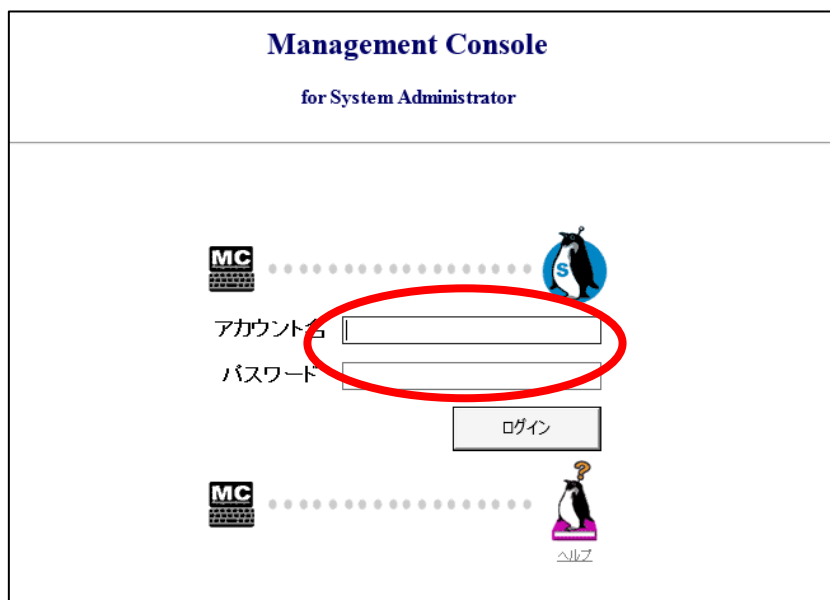
- InterSec/MW 二重化構成構築キット
- InterSec/MW 全メール保存ライセンス
- InterSec/MW DNS/DHCP 強化ライセンス

2.1. 機能追加ライセンスのインストール方法

- 1) InterSec/MW ライセンス製品を、InterSec/MW にインストールします。
ブラウザから Management Console を使って InterSec/MW へアクセスします。
セキュリティレベルの選択によっては、アクセスすると以下の画面が表示されますので、詳細情報の「Web ページに移動 (非推奨)」をクリックしてください。



- 2) Management Console のトップページが表示されます。
[アカウント名]、[パスワード]を入力してログインしてください。



- 3) ログイン完了後、Management Console の各種設定を行うためのページが表示されます。
[システム]をクリックしてください。

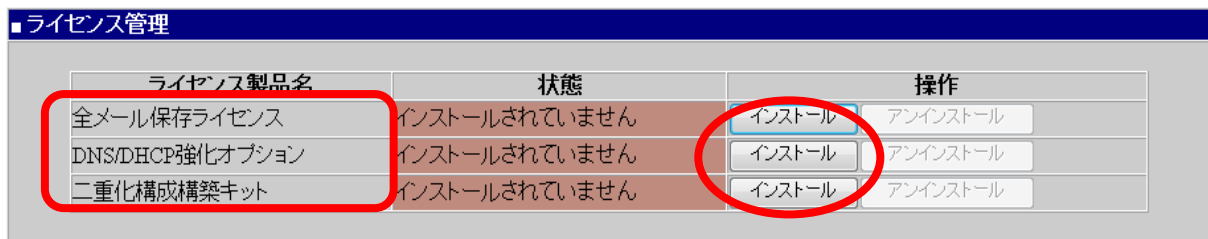


- 4) 「システム」画面が表示されます。システム設定欄中の[ライセンス管理]をクリックしてください。



- 5) 「ライセンス管理」画面が表示されます。

インストールする InterSec/MW のオプションライセンス製品名に対応した[インストール]ボタンをクリックしてください。



- 6) インストールするオプションライセンスの認証画面が表示されます。
ご購入のライセンス製品に添付された「ライセンスシート」に記載されている
ライセンス認証番号を入力し、入力内容を確認した後、[認証送信]をクリックしてください。以下
は、「InterSec/MW 二重化構成構築キット」の例となります。

■ 二重化構成構築キット

ライセンス認証番号を入力してください。

**** - **** - *** - **** - **** - ***

認証送信

- 7) オプションライセンスが正常に認証されると、以下の画面が表示されます。

■ 認証成功

ライセンスインストールが完了しました。

戻る



インストールに失敗した場合は、以下のエラーメッセージが表示されます。[戻る]ボタンをクリックして、ライセンス製品名とライセンス認証番号を再度確認して、手順(5)からやり直してください。

■ 認証処理失敗

認証番号をもう一度確認してください。

戻る

8) 以上でインストールは完了です。

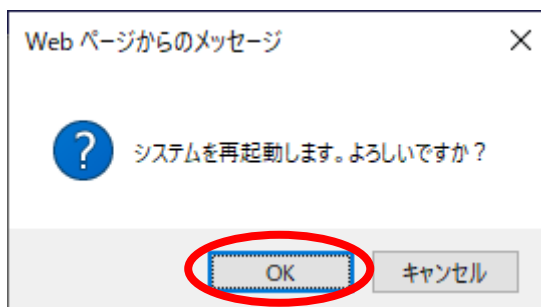
システム画面を表示し、[システムの再起動]をクリックして InterSec/MW の再起動を行ってください。



二重化構成構築キットで二重化システムを構築している場合は、CLUSTERPRO の ClusterWebUI 画面、または Webmanager 画面からシステム再起動を実施してください。

9) システム再起動の確認画面が表示されます。

[OK]をクリックしてください。再起動が実行されます。



10) システム再起動後、オプションライセンスの機能に関連して表示が追加されます。

「2.2. 追加機能の確認方法」に従い、ライセンスの登録状況を確認してください。

2.2. 追加機能の確認方法

追加機能の確認方法について説明します。

- 1) インストール方法と同様の手順で、Management Console から[システム]を開き、[ライセンス管理]をクリックしてください。



- 2) ライセンスがインストールされている場合、そのライセンスの状態が「インストール済み」と表示されます。

以下は、「InterSec/MW 二重化構成構築キット」を示した例です。

The screenshot shows the 'License Management' (ライセンス管理) table in the Management Console. The table has three columns: License Product Name (ライセンス製品名), Status (状態), and Operation (操作). The status 'Installed' (インストール済み) for the 'InterSec/MW 二重化構成構築キット' is circled in red.

ライセンス製品名	状態	操作	
全メール保存ライセンス	インストールされていません	インストール	アンインストール
DNS/DHCP強化オプション	インストールされていません	インストール	アンインストール
二重化構成構築キット	インストール済み	インストール	アンインストール

2.2.1. 二重化構成構築キット機能の確認

- 1) Management Console から[サービス]を開きます。
- 2) [サービス]一覧から「クラスタプロ(CLUSTERPRO X)」サービスが利用可能になります。

■ サービス				
OS 起動時 の状態	現在の 状態	(再)起動	停止	サービス
停止 ▼	停止中	起動	停止	Mission Critical Mail Filter(MCMail)
停止 ▼	停止中	起動	停止	メールサーバ(postfix) メールサーバ(dovecot)
起動 ▼	起動中	再起動	停止	メールコントローラ(mwmctl)
停止 ▼	起動中	再起動	停止	WEBMAIL-Xサーバ(webmail-httpd)
停止 ▼	停止中	起動	停止	ディレクトリサーバ(openldap)
停止 ▼	停止中	起動	停止	Webサーバ(httpd)
停止 ▼	停止中	起動	停止	ネームサーバ(named)
停止 ▼	停止中	起動	停止	DHCPサーバ(dhcpd)
停止 ▼	停止中	起動	停止	ファイル転送(vsftpd)
停止 ▼	停止中	起動	停止	時刻調整(chronyd)
起動 ▼	起動中	再起動	停止	リモートシェル(sshd)
起動 ▼	起動中	再起動	停止	クラスタプロ(CLUSTERPRO X)
停止 ▼	起動中	再起動	停止	ネットワーク管理エージェント(snmpd)
停止 ▼	停止中	起動	停止	システム監視(mwmonitor)
停止	停止中	起動	停止	サービス監視(chksvc)

設定

- 3) 二重化構成の構築については、InterSec/MW に添付されているクラスタ構築手順書を参照してください。

2.2.2. DNS/DHCP 強化ライセンス機能の確認

- 1) Management Console から[サービス]を開きます。
- 2) [サービス]一覧から「DHCP サーバ(dhcpd)」サービスが利用可能になります。

停止 ▾	停止中	起動	停止	ネームサーバ(named)
停止 ▾	停止中	起動	停止	DHCPサーバ(dhcpd)

- 3) [サービス]一覧「DNS サーバ」から「ビュー」が利用可能になります。

操作		ビュー名	操作	所属するゾーン
追加	順序			
削除	詳細	default	追加	
			削除 詳細 移動	.
			削除 詳細 移動	localhost
			削除 詳細 移動	0.0.127.in-addr.arpa

- 4) [サービス]一覧「DNS サーバ > オプション」から ACL、DNSSEC が利用可能になります。

ACLの設定		
ACL名	アドレスマッチリスト	操作

設定

[TOP](#)

DNSSECの有効化設定
DNSSEC検証を有効にする(dnssec-validation)
<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
設定

[TOP](#)

DNSSECキャッシュサーバ各種キー設定	
セキュリティルトの公開鍵設定(trusted-key)	トラストアンカー-自動更新対応ドメインの登録

[TOP](#)

- 5) 各機能の利用については、InterSec/MW に添付されているユーザーズガイドを参照してください。

2.2.3. 全メール保存ライセンス機能の確認

- 1) Management Console から[サービス]を開きます。
- 2) [サービス]一覧「メールコントローラ(mwmctl)」から「全メール保存設定」が利用可能になります。
※全メール保存ライセンスをインストールしていない状態では、[全メール保存設定]ボタンはグレーアウトしています。



全メール保存機能を使用するには、メールコントローラ(mwmctl)の「起動」が必要です。

停止 ▾	<input type="checkbox"/>	起動中	再起動	停止	メールサーバ (postfix)
停止 ▾	<input type="checkbox"/>	起動中	再起動	停止	メールサーバ (dovecot)
停止 ▾	<input type="checkbox"/>	停止中	起動	停止	メールコントローラ(mwmctl)
停止 ▾	<input type="checkbox"/>	停止中	起動	停止	WEBMAIL-スクリプト(webmail-httpd)

全メール保存機能の設定を行った場合は、一度「停止」した後に「起動」を行ってください。再起動では反映されませんのでご注意ください。

- 3) 全メール保存の利用については、InterSec/MW に添付されているユーザーズガイドを参照してください。

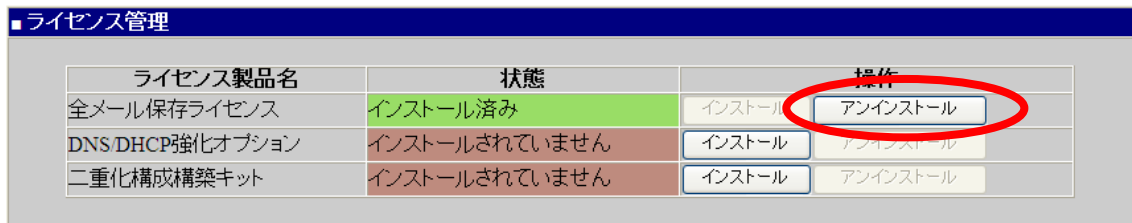
2.3. 機能追加ライセンスのアンインストール方法

機能追加ライセンスのアンインストール方法について説明します。

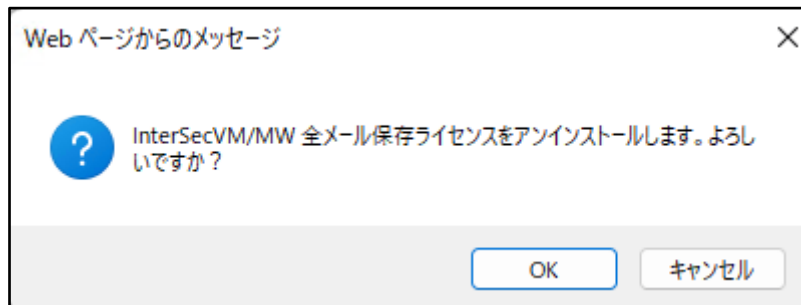
- 1) Management Console から「システム」画面を開き、[ライセンス管理]をクリックしてください。



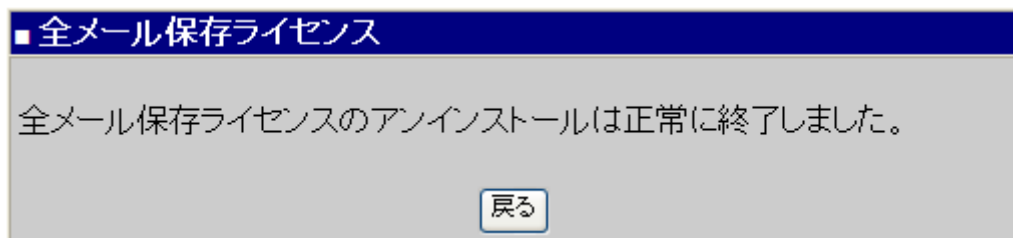
- 2) ライセンスがインストールされている場合、以下の画面が表示されます。
以下は、「InterSec/MW 全メール保存ライセンス」を示した例となります。



- 3) [アンインストール]をクリックします。
以下の画面が表示されますので[OK]をクリックしてください。



- 4) 正常終了すると以下の画面が表示されます。



以上で、アンインストールは完了です。「2.1. 機能追加ライセンスのインストール方法」の 8)以降と同様の手順でシステムの再起動を行ってください。再起動後、5)の画面で[アンインストール]が無効になっていることを確認してください。

3章 InterSec/MW の WEBMAIL-X オプション



二重化構成構築キットをご利用の場合

WEBMAIL-X サーバの利用になるプロトコル選択は、二重化システム構築後に実施後してください。



WEBMAIL-X ではメールアドレスの保存場所に応じて、以下の2種類の接続形式（プロトコル）をサポートしています。

お客様のシステム環境にあった接続形式を選択してください。

- IMAP 接続形式（こちらの利用を推奨します）

メールアドレスをメールサーバ側に保存する形式です。

InterSec/MW 本体のメールサーバ機能と WEBMAIL-X 機能との通信はこちらで実現しています。InterSec/MW“以外”のメールサーバと WEBMAIL-X 機能が『IMAP 接続』で通信することも可能です。

- POP 接続形式

メールアドレスを WEBMAIL-X 側に保存する形式です。

InterSec/MW“以外”のメールサーバと WEBMAIL-X 機能が『POP 接続』で通信する場合は、こちらを選択してください。

3.1. WEBMAIL-X の同時接続ライセンスについて

WEBMAIL-X は、InterSec/MW にプリインストールされています。以下の同時ユーザライセンスを追加することで、利用することができます。

- InterSec/MW WEBMAIL-X(WM) 20 同時接続 (サブスクリプションライセンス)
- InterSec/MW WEBMAIL-X(WM) 20 同時接続 (サブスクリプションアカデミックライセンス)

※ 出荷時に体験版として InterSec/MW WEBMAIL-X(WM)の 5 同時接続ライセンスが付属していません。

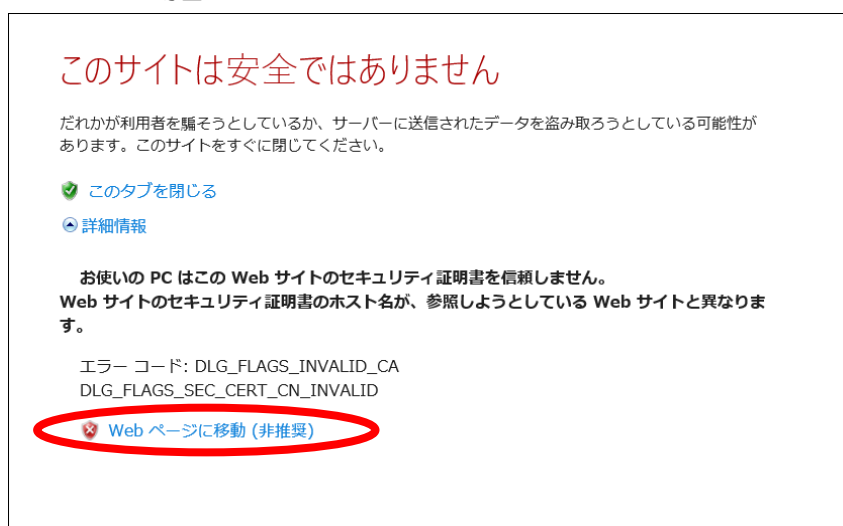
あらかじめ、InterSec/MW WEBMAIL-X(WM)の購入時に添付されているライセンス申請シートを登録申請していただき、「ライセンス発行証」を入手してください。

3.2. WEBMAIL-X の同時接続ライセンスの登録

この章では本製品の登録までの準備について説明します。



- 1) InterSec/MW ライセンス製品を、InterSec/MW にインストールします。
ブラウザから Management Console を使って InterSec/MW へアクセスします。
セキュリティレベルの選択によっては、アクセスすると以下の画面が表示されますので、詳細情報の「Web ページに移動 (非推奨)」をクリックしてください。



Internet Explorer 11.0 の場合



- 2) Management Console のトップページが表示されます。
[アカウント名]、[パスワード]を入力してログインしてください。

Management Console
for System Administrator

 
アカウント名
パスワード

 
△▽Z

- 3) ログイン完了後、Management Console の各種設定を行うためのページが表示されます。
[サービス]をクリックしてください。

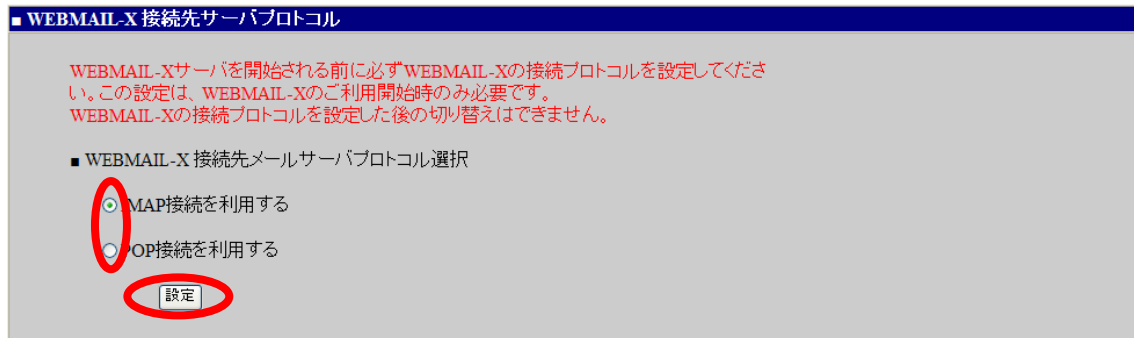


- 4) サービス画面の「WEBMAIL-X サーバ (webmail-httpd)」をクリックしてください。

■ サービス				
OS 起動時の状態	現在の状態	(再)起動	停止	サービス
停止 ▼	停止中	起動	停止	Mission Critical Mail Filter(MCMail)
停止 ▼	停止中	起動	停止	メールサーバ(postfix) メールサーバ(dovecot)
起動 ▼	起動中	再起動	停止	メールコントローラ(mwmctl)
停止 ▼	起動中	再起動	停止	WEBMAIL-Xサーバ(webmail-httpd)
停止 ▼	停止中	起動	停止	ディレクトリサーバ(openldap)
停止 ▼	停止中	起動	停止	Webサーバ(httpd)
停止 ▼	停止中	起動	停止	ネームサーバ(named)
停止 ▼	停止中	起動	停止	DHCPサーバ(dhcpd)
停止 ▼	停止中	起動	停止	ファイル転送(vsftpd)
停止 ▼	停止中	起動	停止	時刻調整(chronyd)
起動 ▼	起動中	再起動	停止	リモートシェル(sshd)
起動 ▼	起動中	再起動	停止	クラスタプロ(CLUSTERPRO X)
停止 ▼	起動中	再起動	停止	ネットワーク管理エージェント(snmpd)
停止 ▼	停止中	起動	停止	システム監視(mwmonitor)
停止	停止中	起動	停止	サービス監視(chksvc)

設定

- 5) 初回アクセス時には、WEBMAIL-X サーバの利用になるためのプロトコル選択（IMAP 接続および POP 接続）を実行するための画面が表示されます。
「POP 接続を使用する」、「IMAP 接続を使用する」のどちらかを選択して [設定] をクリックし使用するプロトコルの選択を必ず行ってください。
設定をしない場合は、「WEBMAIL-X」を使用することができません。また、一度、選択すると、インストール処理が動作し、選択したプロトコルを変更することはできませんので、ご注意ください。



プロトコル選択後の、詳細な設定や WEBMAIL-X の使用方法は、InterSec/MW に添付されているユーザズガイドの「WEBMAIL サーバ機能」を参照してください。

- 6) WEBMAIL-X のサーバ準備が整った後、WEBMAIL-X に接続し管理画面を表示させます。
WEB ブラウザから WEBMAIL-X の管理者画面に接続する時は、以下の URL を指定してください。

—http://実ホスト名(FQDN 形式):11080/h5manager/ (SSL 未使用時)

—https://実ホスト名(FQDN 形式):10443/h5manager/ (SSL 使用時)



SSL 未使用時のポート番号は MW40012 までの 10080 から 11080 に変更となっています。
10080 ポートへの接続ができないブラウザに対処するためです。
WEBMAIL-X の管理者画面は HTML5 版の画面のみとなりました。
そのため URL は manager から h5manager に変更となっています。
Adobe flash 版の管理者画面は使用できません。

- 7) WEBMAIL-X 管理画面ログインの画面が表示されます。管理者アカウントとパスワードを入力してください。

WEBMAIL-X 管理画面の初期管理者アカウントとパスワードは以下の通りです。

管理者アカウント : root

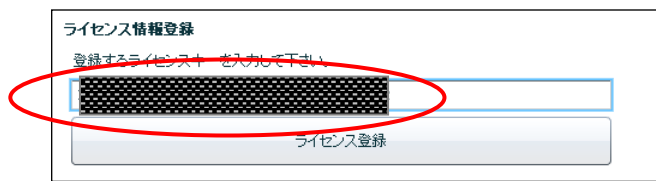
パスワード : root

8) WEBMAIL-X のライセンスの登録

WEBMAIL-X 管理画面の左のナビゲーターでの[ライセンス管理]・[ライセンス]をクリックします。操作につきましては、添付の管理者マニュアルを参照してください。



- 9) ライセンス管理画面が表示されますので、あらかじめ申請した「ライセンス発行証」のライセンスキーを入力し「ライセンス登録」ボタンを押下します。
以下の画像で入力されているライセンスキーは入力例です。



※「ライセンス発行証」は、ライセンス申請シートの申請に基づき発行されます。

- 10) ライセンス管理画面からライセンス情報が更新されたことを確認してください。
追加するライセンスが他にもある場合は、続けて登録してください。ユーザ数が加算されます。

The image shows the 'ライセンス情報' (License Information) page. The main content includes:
ライセンス情報 このライセンスは体験版ライセンスです。
バージョン: 4.06.00
ライセンス数: 同時利用ユーザ数: 0 / 最大同時利用ユーザ数: 5
使用期限: 期限無し
オプション: LDAP, 新着API,
登録済みライセンス
ベースライセンス: [Redacted license key]

Two callout boxes provide additional information:
1. A blue callout box points to the '最大同時利用ユーザ数: 5' field with the text: '最大同時利用ユーザ数が増加します'.
2. A blue callout box points to the '登録済みライセンス' section with the text: '登録ライセンスが表示されます'.



InterSec/MW には、出荷時に体験版として InterSec/MW WEBMAIL-X(WM)の 5 同時接続ユーザライセンスが付属しています。
ライセンスを追加登録した場合は、この 5 同時接続ユーザライセンスは加算されません。



ライセンス登録に失敗した場合は、以下のエラーメッセージが表示されます。
[OK]ボタンを押して、ライセンス情報を再度確認して、手順 9)からやり直してください。



以上で、WEBMAIL-X のご利用が可能になります。
お客様の利用形態に応じた設定は『WitchyMail 管理者マニュアル』を参照してください。

4章 注意事項

- 1) 各追加ライセンスは、InterSec/MW の1 システム（二重化構成においてもそれぞれを1 システムとみなします）にのみインストール可能です。
フェイルオーバークラスタ構成の場合は、クラスタを構成する2台の InterSec/MW それぞれについて、InterSec/MW のライセンスを必要数分購入しインストールする必要があります。
- 2) 二重化構成構築キットで二重化構成を構築する場合、以下の機能追加ライセンスの前にフェイルオーバークラスタ構成を完了しておく必要があります。
 - ・ InterSec/MW 全メール保存ライセンス
 - ・ InterSec/MW DNS/DHCP 強化オプション
 - ・ InterSec/MW の InterSec/MW WEBMAIL-X(WM) 20 同時接続(サブスクリプションライセンス)
 - ・ InterSec/MW の InterSec/MW WEBMAIL-X(WM) 20 同時接続(サブスクリプションアカデミックライセンス)
- 3) InterSec/MW WEBMAIL-X(WM) 同時接続ライセンスは、InterSec/MW の1 システム（二重化構成においては、稼動系に追加します。二重化構成を1 システムとみなします）にライセンスを追加可能です。
- 4) InterSec/MW には、出荷時に体験版として InterSec/MW WEBMAIL-X(WM)5 同時接続ライセンスが付属しています。なお、ライセンスを追加登録した場合は、この 5 同時接続ライセンスは加算されません。
- 5) InterSec/MW のユーザズガイドは、インストールディスクに格納されています。
- 6) InterSec/MW WEBMAIL-X(WM)ライセンスを InterSec/MW からアンインストールすることはできません。
- 7) 『WitchyMail 管理者マニュアル』は、インストールディスクに格納されています。
インストールディスク“/nec/doc/witchymail/”を参照ください。

NEC
InterSec/MW400n
オプションライセンス セットアップ手順説明書
2024年 8月 第1版
日本電気株式会社
東京都港区芝五丁目7番1号
TEL (03) 3454-1111 (大代表)

© NEC Corporation 2024

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。